

授業づくり規準 ～魅力ある授業づくりのために～

学校の教育活動の中心は授業です。そして、授業力の向上は、学校と教員の永遠の課題です。この「授業づくり規準」は、教員の授業づくりの目標や支えになるものとして作成しました。授業を見るための、語るための、改善するための道具として活用し、魅力ある授業づくりへの道を、センターとともに歩んでいきませんか。（県総合教育センター）

「授業力」とは

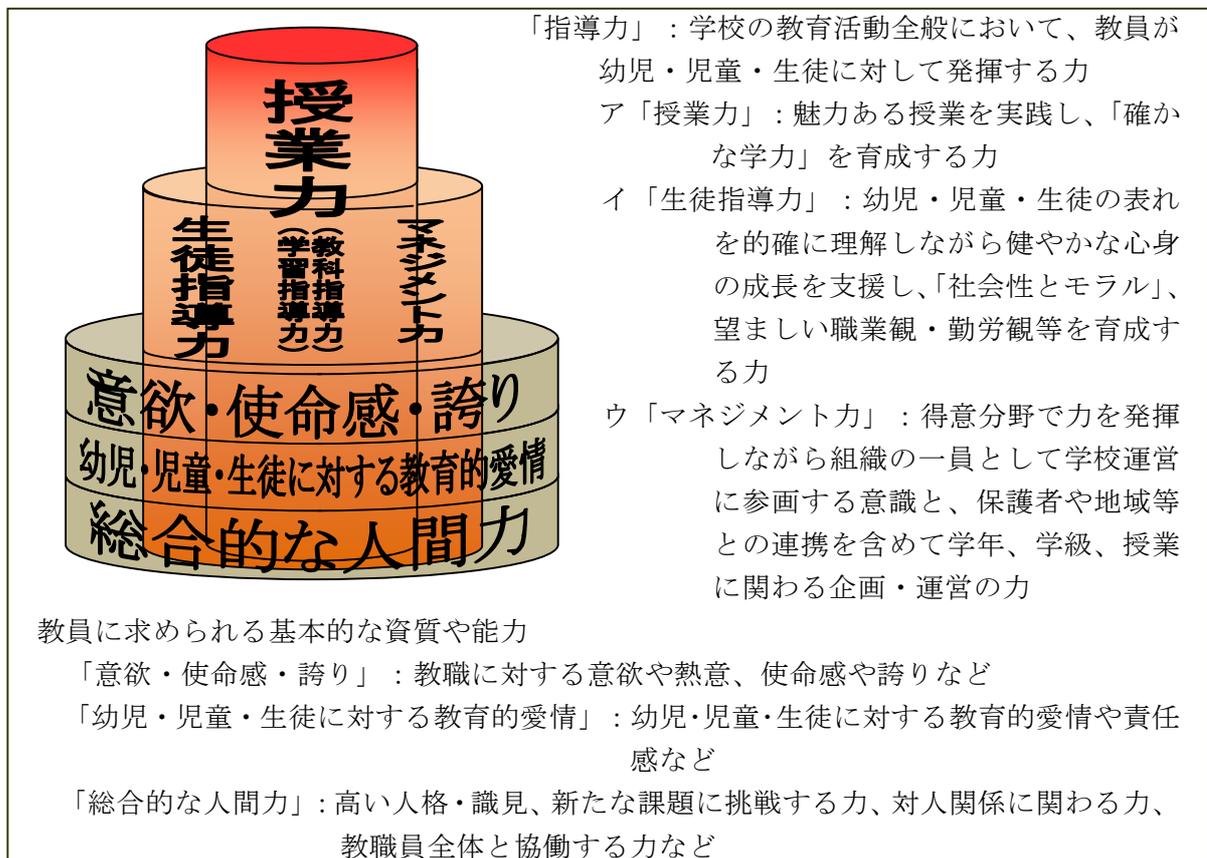
1 「授業力」の位置付け

教員は、いつの時代にも特に高い人格・識見が社会的に求められるとともに、教職に対する意欲・使命感・誇り、子どもに対する教育的愛情を備えていなければならない。また、社会の変化に対応し、時代のニーズに応える学校教育の実現のため、新たな課題に対応する力や組織の一員として協働する力も必要とされる。これらは、教員に求められる基本的な資質や能力であり、実際の授業の場面において具体的に発揮される力の土台となるものである。

さらに、教員には、教職に関する高い専門性に裏付けられた「指導力」が必要とされる。「指導力」は、学校の教育活動全般において教員に必要とされる力であり、実際の授業、生徒指導、学級経営及び学校運営等の具体的な場面で、幼児・児童・生徒に対して発揮される。そこで、静岡県教員に特に必要とされる「指導力」を、「授業力」、「生徒指導力」、「マネジメント力」の三つとし、下図のように示す。

「授業力」は、「生徒指導力」や「マネジメント力」と明確に区分されるものでなく、下図に示した全ての資質や能力があって成立するものである。「授業力」を向上させることは、下図に示した全ての資質や能力を高めることにつながる。そのような考え方から、「授業力」を下図のように、教員に必要とされる「指導力」の中核部分に位置付けた。

教員に必要とされる「指導力」



2 「授業力」の構成要素

「授業力」を、各教科等共通の授業づくりの力（「学習指導力」）と、各教科等における固有の授業づくりの力（「教科指導力」）の二つに大別して捉える。「学習指導力」は授業における姿勢や指導方法等に、「教科指導力」は教科等の内容に関わる力である。「学習指導力」と「教科指導力」は、授業における**構想（Plan）・展開（Do）・評価（Check）・改善（Action）**のそれぞれの場面において、必要とされる。（各教科等は、道徳や特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動等を含む。）

下表は、その構成要素を示したものである。

表 「授業力」の構成要素

場面 \ 力	学 習 指 導 力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教 科 指 導 力 (各教科等の内容に関わる、各教科等 固有の授業づくりの力)
構 想 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者の実態把握 ・ 目標の設定 ・ 単元計画（授業計画） 学習指導案の作成 評価計画 ・ 授業の構成 学習方法・形態の選択・組織 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者の実態把握 ・ 教科内容に関する知識・技能 ・ 目標の設定 ・ 単元計画（授業計画） 単元計画の作成 評価計画 ・ 授業の構成 学習内容の構成、 教材（題材）の選択・構成・開発、 板書等の計画
展 開 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境づくり ・ 学習への構えや学び方の指導 ・ 個や集団への配慮 ・ 音声・表情・所作等 ・ 指導技術 言葉遣い、説明、指示、発問、 板書、演技・表現 ・ 学習活動における即時的対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境づくり ・ 学習への構えや学び方の指導 ・ 個や集団への配慮 ・ 指導技術 言語、説明、指示、発問、板書、 演示、教材・教具の活用、資料提 示 ・ 学習活動における即時的対応
評価・改善 (Check・Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の振り返りと分析 ・ 改善に向けた手だて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の振り返りと分析 ・ 改善に向けた手だて